

令和3年5月6日

九州高体連弓道専門部

1 大会全般について

- (1) 開会式・閉会式は規模を縮小して行う。
- (2) 大会に参加できるのは、監督・引率責任者・選手(登録選手)のみとする。保護者、選手以外の生徒、監督・引率責任者以外の教職員、卒業生等は来場できない。
- (3) すべての大会参加者はマスクを着用する。
- (4) 受付にはパーテーション及び非接触型の体温計、予備のマスクを用意する。

2 大会参加について

- (1) チェックリスト(別紙)を毎日引率責任者に提出してもらおう。チェックリストに×印がひとつでもつく場合は大会に参加できない。大会要項に明記する。

「要項記載例」 「大会参加資格」等の欄

大会参加にあたっては、以下の項目を遵守すること。

ア 大会当日は各自必ず検温を行うこと。計測した体温を別紙チェックリストに他の質問事項への回答とともに記入の上、来場すること。チェックリストは、引率責任者が毎日来場の際に受付へ提出すること。また、発熱がある場合やチェックリストに×印がひとつでもつく場合は、当人は来場することはできない。

イ マスクを持参し、競技中以外は必ず着用すること。

ウ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

エ 他の参加者、競技役員・補助員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

オ 会場では大きな声で会話、応援等をしないこと。

カ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

キ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

- (2) その他注意喚起事項

十分な距離の確保。感染予防の観点からは、少なくとも1.5～2mの距離を空けること。

タオルや飲料水(水筒やペットボトル)等の共用はしないこと。

飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。飲食時以外はマスクを着用すること。同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。

飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てないこと。

3 競技会場について

- (1) 第3控に椅子・弓立を設置するが、定期的に消毒を行う。
- (2) 巻藁練習場では(できるだけ)2.0mの間隔で並ぶ。

4 その他大会会場について

(1) 洗面所・手洗い場所

手洗い場には石鹸等を用意する。

「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参を求める。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。

トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒する。

トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。

室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒する。

ひなた武道館は空調及び換気が同時で行われているので、空気の流れが悪いようであれば、送風機を併用するなど、換気に配慮する。

(3) 観客席

無観客とするため使用禁止とする。

5 競技について

(1) 応援(観客席は使用禁止)は行わない。

(2) 矢取り補助員は軍手で矢取りを行い、通常を矢拭きまでそのまま行う。選手は矢を取りに来た際に、除菌シートですべての矢を拭き上げてから持ち帰る。

(3) 選手は射場内に入る前まではマスク着用、外したマスクは各自で保管する。
マスクを外した後は声を出さない。

6 旅行業者への依頼事項

(1) 宿舎での食事は大皿で取り分けることがなく、個別に配膳されること。

(2) 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。

(3) スポーツドリンク等の飲料の提供は行わない。各自で準備したマイボトルを利用させること。

(4) 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。

7 ゴミの廃棄

(1) 会場で出たゴミは各自で持ち帰ることを周知する。

(2) 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。